

おきなわ企業

Work Work 訪問

金城電気工事株式会社

民間・公共様々な建物の電気設備工事に携わり、
創業70周年を迎える、電気工事施工管理会社

お名前 :左)桑江さん 右)瑞慶覧さん
勤続年数 :左)入社2年目 右)入社3年目

入社のカッカケを教えてください。

瑞慶覧) 高校が電気科であったため、最初は電気工事の職人になろうと思っていました。職人とは自分で手を動かし、電気の照明器具やスイッチなどの取り付けや配線を行う人のことです。そんな時、たまたま電気工事施工管理技士の資格ポスターをみて施工管理技士を目指そうと思いました。施工管理技士とは職人さんが作業をする際にその基となる照明の位置や配線方法を考えて図面を作成し現場指示を行う人のことです。

高校で電気関連企業の求人を調べると職人の募集が多く、施工管理技士募集はあまりありませんでした。その中で金城電気工事が募集しており興味を持ちました。また、たまたま1学年上の先輩が入社していたこともあり応募しました。

施工管理技士に惹かれたのは、現場業務より社内勤務が多いかなと思ったからです。けれど実際、思ったより会社にはいないです(笑)。現場や打合せで外出することが多いですね。



桑江) 元々電気に興味があり、大学では電気科を専攻していました。その時は、電気は目に見えるものでないため「大変だな」と思ったこともありますが、学年が上がるにつれ気づきが増えて楽しくなっていました。卒業の時には電気って楽しいな、仕事にしたいなと思っていました。就職活動中に学校の求人でこの会社を知り、更に金城電気工事に入社した1学年上の先輩が卒業生講話で会社について話してくれ、

「上司と話しやすい」「サポートも手厚い」ということが印象に残り、興味を持ちました。その後参加した会社の一日体験では、案内役の常務の説明がとてもわかりやすく、こちらからの



質問にも丁寧に返してくださり「とても話しやすいな」と実感しました。また、施工管理の仕事の説明もあり、仕事内容や会社で働く具体的なイメージができました。施工管理は大変というイメージでしたが、とても話しやすい印象を持ったので、何かあったらアドバイスもらえるだろうなと思い、この会社に魅力を感じました。

今のお仕事内容を教えてください

瑞慶覧 現場で使用する図面作成、施主様との工事内容の取り決め、小口工事（既設建物の改修）の見積もり作成など行っています。中でも図面作成が楽しいです。人によって図面の書き方が違うため、自分が自信を持って出来上がったと（上司へ）報告をしても、ダメ出しされることが沢山あります。悔しい気持ちもありますが、やり方だけでなく材料によって気を付けなければならない点が変わってくるので、そのような点を指摘されるとただただ納得するばかりです。このダメ出しも含めて、自分がイメージしていたものが図面に仕上がるのはとても楽しいです。高校時代に図面作成をしたことはなく、入社後に初めて書くようになりました。入社後1、2年は現場をみながら先輩の下で細かくチェックしてもらい書いていました。3年目の今はひとりで図面を任されることが多くなりました。



-- 【図面を書く楽しさとは？】

イメージだけなら照明やコンセントがどこにあって、どのようなものあるのかわからないけれど、図面にすることで壁のどこに、どのようなものを取り付けるかがかすぐわかる場所です。白紙の状態から形になっていくのが楽しいのもっといろいろな書き方を学びたいと思います。作り出す楽しさと、またそれをよりよくしていこうという二段階の楽しさがあります。

桑江 主な内容はプロット図や施工図の作成、また施主様や各業者との打合せ、見積もりを行うことです。現在新しい現場なのでプロット図の作成をしています。設計者から送られてきた図面



はコンセントやスイッチなどが大体の場所にしか記入されていません。プロット図では細かな寸法を出し図面に起こし位置を確認できるようにします。その際、大きく配置が変わりそうな場合はオーナー様へ連絡して、別の場所に配置して良いかの確認を行うこともあります。

プロット図の作成が終わると、次は施工図の作成に移ります。施工図は展開図や配線のルートや太さなど、より詳細に書きます。図面ができたなら施工図を職人さんへ渡し現場で指示を

行っていきます。この段階で施主様や業者さんとの打合せ、業者さんから上がってきた見積もり確認なども行います。

-- 【好きな業務は？】

プロット図を書くのが好きです。設計者から上がってきた図面を使う人の目線に合わせてイメージした時に、コンセントがもっと必要じゃないかなとか、この扉だとスイッチは右側より左側が適しているんじゃないかななど、思ったことを図面にできるところが楽しいです。

他には最後のチェックが好きです。コンセントに電気が来ているか各場所で確認するんですが、このチェックをすると、現場の終わりが近づいてくることを実感でき嬉しさを感じます。

この最後のチェックで不具合があった時は、修正作業に追われるのは大変だけど、力を合わせて仕上がっていくのが楽しいです。

会社の魅力を教えてください

瑞慶寛) 部署、年齢関係なく会話が早いところですよ。今、社内で自分が一番年下です。上は60歳以上の方もいますが、社内の皆とよく話します。アドバイスももらいますが雑談も多いです(笑)。以前3名で一カ所の現場を担当した時、大ベテランの先輩の図面が間違っており、遠慮なく間違いを指摘しました(笑)。

日頃のコミュニケーションがあったからこそできたと思いますし、周りもよく意見交換しているのを見かけるので、全体的に自分の意見を言いやすい雰囲気だと思います。



桑江) 一つ目は上司のサポートが手厚いことです。現場と一緒に周り、図面をみながらチェックして指摘してくれます。わからないところは教えてもらえるし、アドバイスももらえるので吸収できるところは全部吸収したいと思っています。また、業務を任せてもらう際、途中で詰まった時はサポートしてくれ、とても安心感があります。自分に足りないところがわかるし、成長につながっています。二つ目は資格取得にかかる費用を半額補助してくれることです。



三つ目は、現場で使用するタブレットが最新機種であることです。この仕事はチェックがとても大事で、職人さんが作業された箇所を写真に収め確認をしていきます。この時に最新タブレットを使用し、同じ現場を担当している先輩や上司に瞬時に共有し確認をしてもらうことで、ミスがあった場合はすぐわかり、職人さんへその場で修正対応をしてもらうことができ、効率的に業務を進められています。

今後の目標を聞かせてください。

瑞慶寛) 更地に建物が立ち、自分たちの力で電気や照明が点くのを見ると「頑張った良かった」と思います。一から携わった初めての現場で電気が点くのをみた時は本当に感動して泣きそうでした。目の前の仕事をこなしていくと、色々な仕事を任せてくれます。新しい仕事に挑戦する時は、やってみなきゃわからないとワクワクしながら前向きに取り組んでいます。まだ3年目なので工事内容がわからないものが沢山あり、先輩や上司にアドバイスをもらわないと進められないので難しさを感じますが、早くひとりで任せてもらえるよう成長して安心させたいなと思っています。現在は住宅だけでなく、工場や商業施設なども携っており、1件の図面を書くのに1ヶ月ぐらいかかります。ベテランの早い方は1週間で出来上がります。それも丁寧な内容ですがだなと思います。図面や見積もり、原価管理に関しても頑張っていきたいと思っています。特に原価管理が弱いかなと思っているので、営業の方や工事長(上司)と相談しながら、意識して取り組んでいきたいです。



桑江) 1級電気工事施工管理技士の資格取得です。現在資格取得のため過去問読解を進めていこうと思っています。そしてひとり立ちするために全部を吸収していきたいです。ひとりで現場を任せてもらえるように意識していることは、聴く事と考えて行動することです。最初の現場では聴くことに徹していました。今(2件目)の現場では自分で考えて行動することに重点を置いています。ただ、知識不足でいくら考えてもわからないこともあるので、そんな時は先輩や上司から教



えてもらうことで知識を溜め、自分のものにして次につながるようにしています。本当に人の意見を聞くことは大切だと思います。最初の現場で、自分がこうだろうなと軽い気持ちで確認すべきことをしなかったため、作業が二度手間になってしまったことがありました。この反省から、現在はしっかり確認するように努めています。最初の現場で学んだことを振り返り、現在の現場でそれを活かし今後も現場を重ねる度に成長していきたいです。

就職活動中の方へメッセージをお願いします。

瑞慶覧) 自分がやりたいことをみつけて、その仕事を目指すのが重要だと思います。

就職してわからないことが当たり前なので、わからないことをどうわかるように努めるかが大事だと思います。わからないことは全部聞き「当たって砕けろ」の精神で周りを巻き込みながらやってみてください！

桑江) 面倒くさがらず、色んな会社をみて欲しいです。学生の時、電気科を専攻していた友人は就活中にプログラミングをやりたいと電気関係ではない企業へ就職しました。就活で色んな会社と出会うことで全く違う分野に魅力を感じる場合もあります。なので、面倒くさがらず、専攻したことでも自分がやりたいと思ったことをやった方が良いです。合同説明会や企業説明会は場所が遠かったりするかもしれないけど、それでもぜひ行動してください。



上司・先輩からのメッセージ

お名前 : 島袋さん (人事)

会社の魅力を聞かせてください。

人材育成に力を入れているところです。

若手の不安払拭と技術継承のために「社内アカデミー」という制度を設け年間計画を立て、ベテラン社員が講師となり若手や中堅社員へ研修を行っています。この制度創設のきっかけは社員が定着しないことへの危機感からです。現場で教えるのも大事だが、いったん立ち止まって会社全体でしっかり教えるのも大事だという想いから始まりました。今までは「背中を見て覚えろ」というものでしたが、それだと社員が定着しないということで会社全体でしっかり人を育てようと「社内アカデミー」が始まりました。今では各現場での疑問解消や不安払拭につながっています。

また外部講師を呼び、若手、中堅、管理職の各階層向けに研修も行っています。各年代別・各階層ごとに身につけて欲しいスキルを自社独自で計画し、それに沿って研修を組み立てています。先月は、若手の社員向けに第一種電気工事士免許取得の勉強会を実施し、全社員向けに外部講師を招いてコミュニケーション研修を行いました。

昨年は沖縄県の人材育成企業にも認定され、今後もしっかりとやっていきたいと思っています。



他にも、最新の技術を取り入れた新社屋も自慢です！SDGsに配慮した太陽光発電、電子掲示板（デジタルサイネージ）、会議室の電子ホワイトボードなど、様々な新機器を導入しています。

また、省エネの意識を社員にも感じてもらおうと、社内に太陽光発電量がわかるパネルを設置したり、社内で電気工事の実技研修が出来る専用の研修室があったりと素晴らしい環境だと思います。



【社内の太陽光発電量を見える化】

入社後に身に付くスキルを教えてください。

施工管理（現場代理人）とは、工事がスムーズに進められるように管理監督するので、本当に幅広いスキルが必要です。電気施工管理技士や、電気工事士といった資格はひとつの指標となりますが、資格を取得しただけではわからないことがたくさんあります。金城電気工事では、これまで受け継がれた信頼と技術で施工管理（現場代理人）に必要なスキルを身につけることが出来ます。

一つのゴールに向かってどのように動けばいいのかということ意識することで、相手から情報を汲み取る力、交渉力、また現場の職人さんへ伝える力や円滑に進めるコミュニケーション力、他にも施工管理として必要な4大管理-安全管理・品質管理・原価管理・工程管理をしっかりと身につけて運用できる力を養っていきます。

また、資格取得した際は資格手当が支給されるので、従業員のみなさんのモチベーションアップにも繋がります。施工管理としてしっかり現場がみられるようになるために、会社や先輩社員がしっかりとサポートしていますので、県を代表するような建物に携わる施工管理技士を目指すことができます。